



松本市食品ロス削減推進計画の 策定について

松本市 環境エネルギー一部
環境・地域エネルギー課

令和7年6月

策定の経過

策定にあたっての課題

食品ロス削減推進計画策定ワーキンググループの設置及び協議

環境審議会、食品ロス削減連絡会での協議

市内食品ロス量削減目標の算出について

計画に関連した取組みについて



策定の経過

- 令和元年 5月 1日 「食品ロスの削減の推進に関する法律」公布（都道府県及び市町村の食品ロス削減推進計画策定の努力義務）
- 令和元年 10月1日 「食品ロス削減の推進に関する法律」施行
- 令和2年 3月31日 「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」閣議決定
- 令和2年 4月21日 松本市 庁議にて計画の策定について報告
- 令和2年 4月30日 第1回松本市食品ロス削減推進計画策定ワーキンググループにて方針について協議
- 令和2年 6月 5日 第2回松本市食品ロス削減推進計画策定ワーキンググループにて計画(骨子案)について協議
- 令和2年 7月 松本市環境保全施策庁内推進会議及び幹事会にて計画(骨子案)について協議
- 令和2年 8月18日 第6回松本市食品ロス削減連絡会にて計画についてグループ討議
- 令和2年 9月 4日 第2回松本市環境審議会にて計画(骨子案)について協議
- 令和2年 9月24日 第3回松本市食品ロス削減推進計画策定ワーキンググループにて進捗管理指標について協議
- 令和2年11月20日 第3回松本市環境審議会にて計画(案)について協議
- 令和2年11月25日 松本市環境保全施策庁内推進会議 幹事会にて計画(案)について協議
- 令和3年 1月14日 松本市議会建設環境委員会にて計画(案)について協議
- 令和3年 1月14日～2月12日 パブリックコメントの実施
- 令和3年 3月19日 食育推進計画庁内調整会議にて策定状況について報告
- 令和3年 3月23日 松本市食品ロス削減推進計画策定



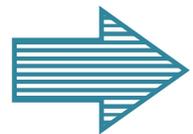
策定にあたっての課題

◆ 他自治体の先行事例が極めて少ない

- ・一般廃棄物処理計画に含めて策定した事例はあり
- ・食品ロス削減に係る計画として単独で作成していたのは富山県のみ
- ・市町村レベルでの先行事例がなく、策定に係る営みから検討

◆ 削減目標の算出、設定

- ・市内食品ロス量
- ・その他、食品ロス削減に関連する指標の選定、設定



庁内外での横断的な検討を実施



食品ロス削減推進計画策定ワーキンググループの設置

庁内の横断的な組織として、既存の「松本市食育推進計画庁内推進会議」の構成課をもとに、ワーキンググループを設置

松本市食育推進計画庁内推進会議

部	課
健康福祉部	健康づくり課
こども部	こども育成課 保育課
産業振興部	商工課 農政課
教育部	教育政策課 学校教育課 学校給食課 生涯学習課・中央公民館
環境エネルギー部	環境・地域エネルギー課



松本市食品ロス削減推進計画ワーキンググループ

部	課
健康福祉部	健康づくり課
こども部	こども福祉課 保育課
産業振興部	商工課 農政課
教育部	学校教育課 学校給食課 生涯学習課・中央公民館
環境エネルギー部	環境業務課 環境・地域エネルギー課

ワーキンググループにて全3回の協議を実施し、それぞれの立場から食品ロス削減推進計画の策定に参画



食品ロス削減推進計画策定ワーキンググループでの協議



◆ 令和2年4月30日 第1回協議事項

- 1 計画の構成(案)
- 2 計画の策定スケジュール
- 3 関連事業一覧の作成依頼

対象とする事業については、食品ロス削減との関係性について幅広くとらえた回答を依頼し、関連事業を抽出

◆ 令和2年6月5日 第2回協議事項

- 1 計画骨子(案)
- 2 関連事業(案)

→ 計画の基本施策の修正案の協議及び関連事業との紐づけ

基本施策(骨子案時点)	関連事業
(1) 実態調査、情報収集 (調べる)	3事業 (家庭系・事業系可燃ごみ組成・食品ロス調査、市民アンケート等)
(2) 普及啓発、情報提供 (気づく)	12事業 (残さず食べよう！30・10運動、環境教育、栄養士の学校訪問等)
(3) 主体的な行動の促進 (実践する)	3事業 (フードドライブ、災害時用備蓄食料の有効活用等)
(4) 食品ロス削減推進の体制づくり (つなぐ)	5事業 (食育推進庁内連絡会議、子どもの居場所づくり推進事業等)



食品ロス削減推進計画策定ワーキンググループでの協議

◆ 令和2年9月24日 第3回協議事項

1 計画素案

(1) 基本方針

→ 構成課から基本方針案を募集し、選出

『みんなで減らそう食品ロス ～「もったいない」の気持ちで つなぐ 未来へのパス』

(2) 素案全体

- ・計画の構成についての確認
- ・他の計画との整合性
- ・具体的な年度や数値等の確認、見直し
- ・用語や表現の確認、統一

2 進捗管理目標の設定

→ 所管課から提出のあった目標値や用語について、意見交換、理解

→ 食品ロス量削減目標については、国の目標値を参考にしつつ、松本市の状況に合わせるため、関係課である環境業務課と協議して決定



環境審議会、食品ロス削減連絡会での協議

◆ 環境審議会

市長の諮問に応じ、環境の保全などに関する基本的事項について調査及び審議するほか、必要に応じて環境の保全等に関する基本的事項について市長に意見を述べることができる

- ・委員構成：20人(学識経験者、公共的団体等の役職員、関係行政機関の職員、公募委員)
- ・開催頻度：年3～4回

令和2年9月4日 及び 11月20日 環境審議会にて協議

- 1 計画(骨子案)及び計画(案)
- 2 食品ロス量の削減目標

→ 市内食ロス量の根拠、計算方法、国の目標と比較した妥当性について審議

◆ 食品ロス削減連絡会

市民、事業者、関係団体(商店街連盟、大学、調理師会、栄養士会、農協、PTA等)、行政等が連携し、食品ロス削減を推進するもの

- ・委員構成：約400団体(連絡会への参加は10～20名/回)
- ・開催頻度：年1～2回

令和2年8月18日 グループ討議を実施、令和3年2月27日 ウェビナーにて経過報告



環境審議会、食品ロス削減連絡会での協議

◆ 食品ロス削減連絡会でのグループ討議

《テーマ》 コロナ禍における新しい生活様式の食品ロス削減の取組について

- 参加者20名(内課職員3名)
- 3グループに分かれて討議
- 討議で出た意見
 - ・食事の提供方法が大皿盛から個人盛へ変化し、食べ残しは減少
 - ・食事の活用方法、おいしく食べる工夫の周知が必要
 - ・個々人の知識(期限表示等)や意識の向上が重要
 - ・農家ではコロナ禍で出荷調整があり、農産現場での食品ロスが目立つ
 - ・食料をシェアできる仕組みづくりが必要
 - ・(コロナ禍特有)飲食店では来客数によらず最低限の仕込みをするため、食ロスが増加



グループ討議の内容についても、事業者、団体からの率直なご意見として
計画策定の参考としました



市内食品ロス量削減目標の算出について

◆ 課題

基本的な方針（令和2年3月31日 閣議決定）

2000年度比で2030年度までに食品ロス量を半減

- 2000(平成12)年度の松本市の食品ロス量の推計が困難(組成調査が未実施)
- 家庭系、事業系それぞれの算出方法

◆ 解決策

- ・ 基準年は組成調査実施年である2016(平成28)年度とする
- ・ 家庭系は家庭系可燃ごみ量に市実施の組成調査結果の食品ロス量の割合を掛けて算出
- ・ 事業系(組成調査を実施している業種)は、国が開示する業種別食品廃棄物等量に食品ロスの発生と相関があると考えられる経済指標(業種別の売上高など)の全国と本市との比と、組成調査結果の食品ロス量の割合を掛けて算出
- ・ 事業系(組成調査を実施していない市内食品関連業種)は、業種別の国内食品ロス量に食品ロスの発生と相関があると考えられる経済指標の全国と本市との比を掛けて算出



計画に関連した取組みについて

◆ 指標の進行管理

関係課と連携をとりながら、年に1度、指標の進行管理を実施

◆ 計画の見直し

- ・ 令和2年度策定の10年計画（概ね5年後に見直し）
- ・ 令和7年度に市民アンケート調査(対象1,000人)を実施し、令和8年度の見直しに向け準備

◆ 関連事業

食料をシェアする取組みを継続、拡大しながら実施

- ・ フレッシュフードシェア（規格外野菜等のフードドライブ）
- ・ フードシェアリングサービスの積極導入（株式会社クラダシとの連携、まつもとタバスケ導入）



ご清聴ありがとうございました

